2 上天草市 橋梁長寿命化修繕計画









平成23年2月

上天草市 建設課道路係

1. 長寿命化修繕計画の背景と目的

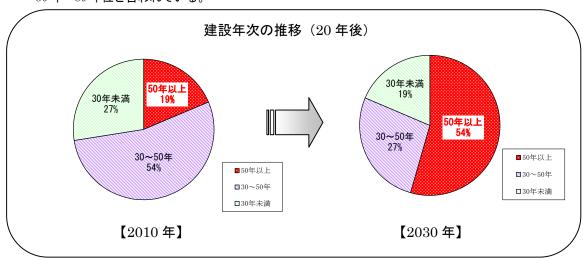
【背景】

上天草市が管理する道路橋は現在 313 橋であり、このうち建設後 50 年を経過する高齢化橋 梁は全体の 19%^{*1}を占めている。

20 年後にはこの割合が 54%を占め、急速に高齢化橋梁*2が増大する。

このような背景から、今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する費用に対し、可能な 限りのコスト縮減への取り組みが必要である。

- ※1. 架設年が不明な橋梁も含めて推定した数値である。
- ※2. 橋の種類、材料や架橋位置の環境状況 (海岸部、平野部等) にもよりますが、橋の寿命は一般的に 50 年~80 年位と言われている。



【目的】

このような背景から、限られた財源の中で効率的に維持管理してくいためには、適切な時期 に修繕を行っていく維持管理計画の取り組みが不可欠となります。

そこで、上天草市では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、重要路線等に架かる橋梁を対象に、上天草市橋梁長寿命化修繕計画を策定します。

この計画では、従来の『傷んだら治す(対症療法的な修繕)』から『傷みが小さいうちに計画的に治し、延命させる(予防保全的な修繕)』に移行することで、修繕・架替えに係わる費用の縮減を図る、地域の道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的とする。

2. 具体的な取組み方針

2-1 維持管理方法の基本方針

橋の維持管理方針は、次の通りです。

- ①定期点検を行い橋の健全度を把握します。
- ②この点検データは、随時更新し、**最新状況を把握**します。
- ③点検結果をもとに効率的な修繕計画を立案します。
- ④修繕計画をもとに対策を実施します。

定期点検 データ更新 「修繕計画の立案 対策の実施

橋の維持管理の流れ

2-2 管理水準について

橋梁の重要度により、管理する水準を設定し、維持管理を行っています。

①管理水準 I:重要な路線等に架かる橋※3で、5年に1回定期点検を行います。また、計画

的に補修を行ない、橋を長生きさせます。

②管理水準Ⅱ:管理水準Ⅰ以外の橋で、10年に1回定期点検を行い、適宜補修を行います。

※3. 防災的見地を踏まえた市内道路ネットワークや橋梁の規模、第三者被害の恐れ等が考えられる橋長 14.5m以上の橋梁を基本的に対象とします。

2-3 健全度の把握について

上天草市橋梁定期点検要領(案)に基づき、**橋梁点検を実施**し、橋の健全性を把握します。 なお、点検を行った橋梁はその結果を市ホームページで公表します。



橋の定期点検状況(1)



橋の定期点検状況(2)

2-4 日常的な維持管理について

橋梁を良好な状態に保ち、通行の安全を守るため、日常的な維持管理として、道路パトロール、 清掃等を行います。

2-5 修繕計画について

橋梁定期点検の実施は勿論ですが、橋梁の安心・安全を守るためには計画的なメンテナンスが必要です。

それぞれの橋梁に対し適切な対応を行い、長く安全性が維持できるよう保守管理を行います。 結果的に**橋梁の維持管理費用のコスト縮減と長寿命化を実現**します。

2-6 修繕実施の基本方針

傷んだ橋梁は、修繕計画をもとに修繕を実施し橋梁を長生きさせていきます。 現在、修繕を行っている橋梁は次の通りです。



倉江橋(松島) 修繕:橋面防水工、 伸縮装置取替工等



蔵々橋(大矢野) 修繕:コンクリート補修工 伸縮装置取替工等



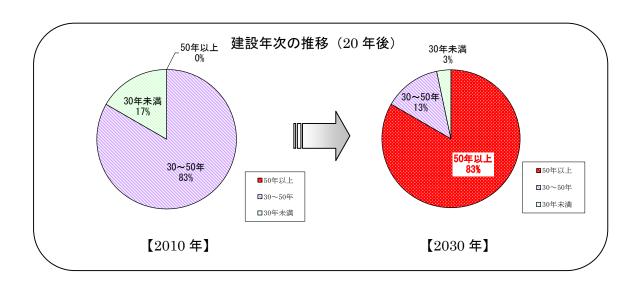
第二神代橋(姫戸) 修繕:床版打替えエ コンクリート補修工等

3. 長寿命化修繕計画

今回の長寿命化修繕計画では、全管理橋梁の中から**重要度の高い路線に架かる管理水準Iの2 9橋を選定**し、計画を策定することとしました。

3-1 長寿命化修繕計画対象橋梁

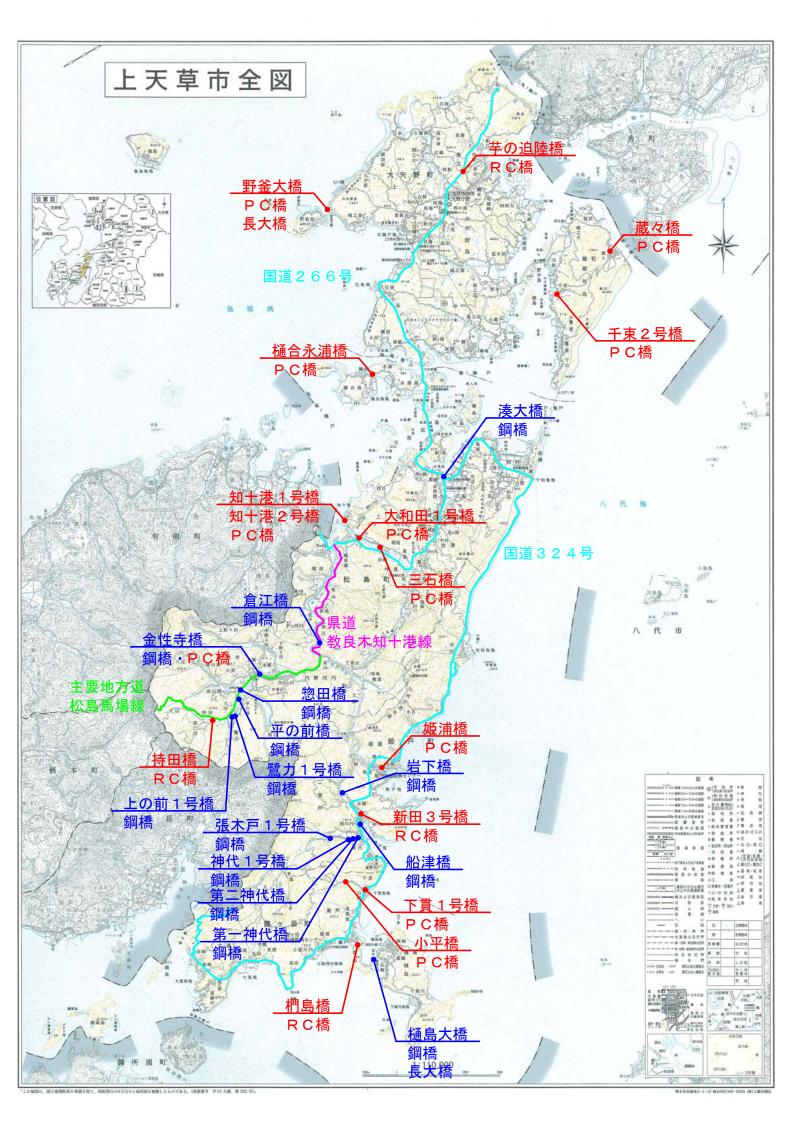
計画年度	対象橋梁数		
		14.5m 以上	14.5m 未満
H22 年度	29 橋	25 橋	4 橋



対象橋梁のうち大半(83%)が架設後経過年数30~50年であり、20年後 50年以上となる橋梁が83%となり、修繕費・更新費が増大する。

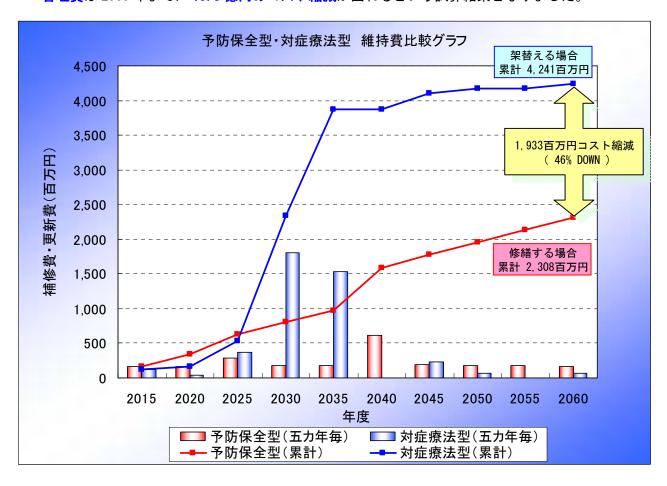
3-2 長寿命化修繕計画対象橋梁位置図

長寿命化修繕計画対象橋梁の位置図を次頁に示す。



4. 長寿命化修繕計画の効果

長寿命化修繕計画の策定により、**予防保全型管理**に転換すれば従来の対症療法型管理に比べ**維持管理費**は 2060 年までに 19.3 **億円のコスト縮減**が図れるという試算結果となりました。



5. 意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

長寿命化修繕計画を策定にあたっては、**熊本大学大学院 自然科学研究科 山尾敏孝教授** に助言を頂きました。

6. 長寿命化修繕計画対象橋梁

6-1 橋体の健全度

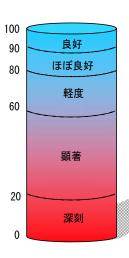
●健全度概要

上天草市長寿命化修繕計画の対象となる管理水準 I の橋梁の定期点検を実施した。 健全度については、「上天草市橋梁定期点検要領(案)」に基づいた点検結果をもとに求めたものである。

●補修判定の目安

補修要否の判定の目安は以下の通りである。

健全状態	詳細照査の判定	補修要否の判定	
良好	詳細調査不要	補修は不要	
	詳細調査不要	早急な補修は不要	
ほぼ良好	※損傷の種類や進行度により詳細調査や補修を要す る場合もある		
軽 度		早急に補修が必要	
顕著	詳細調査が必要	早急に補修または補強が必要 ※損傷状態や道路機能により 更新を要する場合もある	
深刻		早急に補強または更新が必要	



●健全度一覧表

長寿命化修繕計画対象の健全度は次頁に示す。

修繕計画策 定年 大矢野 龍ヶ岳 大矢野 龍ヶ岳 大矢野 龍ヶ岳 松島 松扇 松島 松島 松島 松脂 松島 松島 松島 松馬 超り 松扁 松島 超川 超河 加加 姫戸 松馬 超回 超月 伸縮装置取替 2020年までに実施予定の主な内容 支承取替 支承取替 伸縮装置取替 伸縮装置取替 伸縮装置取替 伸縮装置取替 伸縮装置取替 伸縮装置取替 下部工補修 下部工補修 支承取替 支承取替 支承取替 支承取替 支承取替 支承取替 支承取替 支承取替 支承取替 下部工補修 支承取替 支承取替 支承取替 支承取替 支承取替 支承取替 伸縮装置取替 上部工補修 伸縮装置取替 上部工補修 下部工補修 上部工補修 上部工補修 上部工補修 上部工補修 上部工補修 支承取替 上部工補修 支承取替 支承取替 支承取替 支承取替 ほぼ良好 ほぼ良好 ほぼ良好 ほぼ良好 ほぼ良好 ほぼ良好 ほぼ良好 良好 軽度 良好 良好 良好 良好 軽度 良好 軽度 軽度 軽度 良好 軽度 良好 顕著 良好 軽度 軽度 軽度 顕著 良好 軽度 軽度 軽度 ほぼ良好 ほぼ良好 ほぼ良好 ほぼ良好 ほぼ良好 ほぼ良好 ほぼ良好 ほぼ良好 良好 良好 良好 良好 軽度 良好 良好 軽度 良好 軽度 良好 良好 良好 良好 顕著 軽度 顕著 軽度 軽度 軽度 軽度 良好 軽度 軽度 軽度 最低值 100 90 100 100 100 47 67 78 73 26 88 89 85 94 77 84 82 82 93 78 93 69 92 96 87 94 67 77 65 61 61 67 100 100 100 100 8 93 29 78 92 73 26 83 89 8 94 77 83 9 61 8 91 26 82 28 93 83 96 87 67 94 67 17 閺 ひびわれ・漏水・遊離石灰 支承の機能障害 ひびわれ・漏水・遊離石灰 床版ひぶわれ **保設** ひがわれ **保限**ひび た た 鉄筋露出 鉄筋露出 鉄筋露出 鉄筋露出 鉄筋露出 損傷種類 鉄筋露出 鉄筋露出 鉄筋露出 鉄筋露出 鉄筋露出 鉄筋露出 腐食 腐食 腐食 腐食 腐食 額 額 腐食 腐魚 腐食 主な損傷なし 主な損傷なし 主な損傷なし 主な損傷状況 主桁·横桁·床版 主桁·缆桁·横桁 主桥·下部工 主桁·横桁 土桁·下部工 主桁·横桁 主桁·横桁 主桁·横桁 主桁·横桁 主桁·横桁 主桁·横桁 子 出 不 所 工 部 工 主桁 主格 床版 计结 土桁 主桁 州 计 支承 乐版 干枯 东版 计格 乐版 自部分取替工、主桥ボルト部分取替工、 地震当板桶修工、桶面装置取替工、 防護冊当板桶修工、桶面防水工、舖 下载杆、桶和防水工、舖 修工、床板打替表工、两桶桶 コンクリート補修工、親柱設置、地覆改良工防護細取替工、伸縮装置取替工、構面的水工舗装工、排水管設置工、精座拡幅工、変位制限装置工工、精座拡幅工、変位制限装置工工、精座拡幅工、変位制限装置工 橋面防水工、伸縮装置取替工、地 覆改良工、防護柵取替工 ı ı 1 ı 1 対策の有無の 点検時 点検時 対策後 点検時 対策後 祟 祟 # 祟 # 祟 祟 祟 祟 祟 祟 祟 # 祟 # 祟 祟 祟 祟 祟 祟 祟 祟 祟 祟 祟 最新 点検年 2010 2010 2010 2010 2010 2009 2009 2009 2007 2009 2009 2009 2009 2010 2010 2010 2010 2010 2009 2007 2009 2009 2009 2009 2009 2008 2009 2009 2009 2009 世 英田 16 38 30 37 36 35 36 28 4 36 17 35 32 35 47 36 35 36 36 12 35 37 35 36 36 43 36 œ 4 38 架設年 1975 1980 1973 1974 1972 1975 1974 1982 1969 1974 1993 1975 1974 1975 1974 1974 1998 2002 1975 1973 1975 1974 1974 1963 1974 1970 1967 1972 5.0 三 三 三 三 6.8 4.0 3.0 6.5 4.0 7.0 2.8 2.4 5.2 4.0 3.8 3.6 6.5 4.0 9.0 3.7 4.5 3.7 7.0 6.3 4.0 7.8 5.5 3.1 3.8 5.6 4.5 295.0 32.5 23.5 15.1 57.5 17.0 橋(E 18.6 21.1 17.0 25.5 23.5 17.4 25.0 18.7 22.1 25.0 11.6 11.3 16.0 290.9 16.9 18.2 12.0 28.0 17.2 18.7 12.1 PC橋 鋼橋 PC橋 PC橋 PC橋 鋼橋 PC橋 PC橋 PC橋 PC橋 鋼橋 鋼橋 鋼橋 PC橋 鋼橋 鋼橋 PC橋 鋼橋 PC橋 RC橋 PC橋 PC橋 鋼橋 PC橋 鋼橋 橋種 鋼橋 鋼橋 鋼橋 柘 432121290812 金性寺橋(2/2) 432121290811 金性寺橋(1/2) 432121370910 張木戸1号橋 432121292110 上の前1号橋 432121250520 大和田1号橋 432121200810 知十港1号橋 432121200820 知十港2号橋 432124120910 芋の迫陸橋 432121380110 第一神代橋 432121380310 第二神代橋 鮅 432121362610 新田3号橋 432121380110 神代1号橋 432121410210 下貫1号橋 432121101130 千束2号橋 432121206510 鷺力1号橋 432125100310 野釜大橋 432125400510 福島大橋 432121290830 平の前橋 三石橋 432121292310 惣田橋 432121400110 椚島橋 432121233310 湊大橋 432121291610 持田橋 432121400210 小平橋 432121351820 姫浦橋 432121363910 船津橋 4321211011110 蔵々橋 432121360410 岩下橋 432121206120 倉江橋 梔 432121205820 橋梁管理番号

※対策後については、対策後、健全度の妥当性を検証すること。

H22

H22 H22

H22

H22

H22 H22 H22 H22 H22 H22

H22

H22

H22 H22

H22

H22 H22

H22 H22

H22

H22

H22 H22 H22

H22 H22 H22

H22

H22